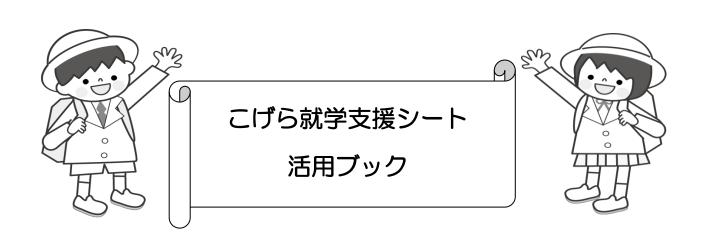


生き生きと楽しく 学校生活を送るために



子どもには、様々な個性があり、多くの可能性があります。また、興味のもち方や物事へのこだわり方、友達との関わり方なども一人一人違います。

小学校への入学を迎え、家庭で今まで大切にしてきたことや、小学校 に引き継ぎたいことがあれば教えてください。

一人一人のお子さんが、生き生きと楽しく学校生活を送ることができるよう、お子さんに必要と思われる支援や配慮について、みんなで一緒に考えていきましょう。

小平市教育委員会

■目 次■

1 こげら就学支援シー	トについて・・・・・		1
2 こげら就学支援シー	'		_
(1)記入欄の説明・・			2
(2)記入例①・・・・			4
(2)記入例②・・・・			6
(2)記入例③・・・・			8
3 こげら就学支援シー	トの作成から提出の涙	たれ・・・・・	10
4 こげら就学支援シー	トはこんな風に役立て	ています・・	1 1
5 「こげら就学支援シー	A&D [1 2
6 子どもたちの楽しい	学校生活を支えるため)I: • • • •	13
就学支援シート見	本		
	このシートは、お子さんが安心		
	ご記入のうえ、2月末までに、	人学する小学校へ提出してく!	retu.
	生き生きと楽しく学	校生活を送るため	かに
	ZIFS	学支援シート	
	子どもには、様々な個性があり、 味のもち方や物事へのこだわり方、 います。		
	小学校への入学を迎え、家庭でき に引き継ぎたいことがあれば教えて 一人一人のお子さんが、生き生き るよう、お子さんに必要と思われる に考えていきましょう。	ください。 きと楽しく学校生活を送るこ	とができ
	に与えていさましょう。	平成	年 月 日提出
	(フリガナ) -さんのお名前	学校との 面談希望	有・無)
	(フリガナ)	保護者の 電話 連絡先	
138	度者のお名前 定こども園 園・保育園名	記入者又は	電話
	関係する作成機関名	起入者	電話
	世要> ☆小学校・学童クラブの先生方へから お学支援シートを受け取ったら、		連絡した日

1 こげら就学支援シートについて

● こげら就学支援シートとは

こげら就学支援シートは、家庭や認定こども園・幼稚園・保育園等(以下「各園等」という)におけるお子さんの様子や保育の様子、指導内容・方法の工夫や配慮などを小学校に引き継ぎ、豊かで楽しい学校生活を送るために保護者、各園等の様々な思いを学校へ橋渡しをしていく貴重な資料です。

学校では、この資料を参考に、子どもに合った指導内容を検討していきます。お子さんのことで伝えたいことがある方は、入学する小学校へ提出してください。また、学童クラブにもコピーを提出いただくと、お子さんに必要な配慮を行うことができます。なお、この資料は、お子さんの就学先を決めるものではありません。

● こげら就学支援シートの内容

こげら就学支援シートには、子どもの乳幼児期の子育てに関わってきた保護者や各園等が、 次のような内容について記述します。

○「学習の基礎」について

- ○「生活の基礎」について
- 〇「遊びや他者との関わり」について
- ○「運動面・行動面」について

就学支援シートの記入例には、参考になる書き方を示していますが、全ての欄に記入しなくても結構です。ここだけは、というポイントがあれば記入してください。

● こげら就学支援シートの配付

こげら就学支援シートは、毎年、就学説明会、就学時健康診断などに配付します。小平市 教育委員会指導課でもお渡しできます。なお小平市ホームページからダウンロードできます。

● こげら就学支援シートの作成(提出を希望する方のみ)

保護者が、入学する小学校に配慮してほしい点等をこげら就学支援シートに沿って記入した上で、今通園している各園等の担任に提出し、指導上の工夫、必要な配慮等の引き継ぎ事項を書いてもらってください。

● こげら就学支援シートの提出

こげら就学支援シートは、提出を希望される保護者が、決められた期間中に直接、入学する小学校に提出してください。目安は2月末頃までです。なお、期間中に提出できない場合には学校へ直接ご連絡ください。(大切な書類ですので、郵送はご遠慮ください。)

また、学童クラブにお子さんが入所される場合には、就学支援シートのコピーを提出することで、入所前に面談を実施したり、日常的に配慮してほしい点等を学童クラブにも引き継いだりすることができます。ぜひ、学童クラブへの入所決定後、直接保護者による提出をお願いします。

● その他

こげら就学支援シートは、個人情報ですので、保護者の同意なしで、目的以外に使用することはありません。管理は、提出された学校の校長が行います。学童クラブでは、学童クラブ指導員が管理します。

2 こげら就学支援シートの記入について

(1)記入欄の説明

		保 護 者 か ら		認定こども園・幼稚園・
項	★気になること、配慮が必要な		★ "得意なこと" "好きなこ	保育園から
	を付け、右側に詳しくご記ん	入してください。	と""工夫していること"	医療・療育関係等から
	ロラ英ナ明いて四切よう		などを記入してください。	
	□言葉を聞いて理解する	O 文字を書いたり、		
777	(1対1、集団での様子)	数えたりするな	好きです。	① 学習の基礎
学習の基礎	□自分の思いを言葉で伝える	どの学習活動に	\ \	② 生活の基礎 ③ 遊びや他者との関わ
の其	☑文字に関心をもつ	はあまり興味を		り
礎	☑数える □絵を描く	示さない。	学習の基礎	④ 運動面・行動面
	□工作をする	\	② 生活の基礎	において、"得意なこと"
	口その他		B) 遊びや他者との関わり	"好きなこと""現在でき
	□着替え	○ 特になし	② 運動面・行動面 において、"気になること"	ている状況"等を具体的に お書きください。
	ロトイレ) ,	"支援が必要なこと" "配慮が	特にない場合は、「特に
<u>+</u>	□食事	② ×	必要なこと"等がありました	なし」と記入してくださ
活	 口片付け		っ、項目にチェック(☑)を付	ιν _°
生活の基礎	 □挨拶		t、この欄に具体的なことを記 、 、してください。	
礎	- ://		特にない場合は、「特になし」	
	口その他	ع \	:記入してください。	「医療的ケア」に
				ついては、現在、
遊 び	 □子ども同士の関わり			誰が何をどのよ
びや	口大人との関わり			うに対応してい るかをご記入く
や他者との関	│ │□大人数での活動	3		(ださい。)
との	□指示・ルールの理解			
関わ	口その他			
ij				
	1 運動について			
	口身体全体を使った運動			
	口手先を使った作業			
	2 感情について			
	口家庭や友達との共感			
	│ □感情の安定 │ (不安、パニックなど)	4		
運	3 行動について	4		
重動面	□落ち着き			
	口人や物にあたる、こだわり			
行 動	がある、など			
面	4 感覚について			
	口音への反応			
	(苦手な音がある、など)			
	□感触への反応			
	(苦手な感触がある、など)5 その他			
				-

項目	保護者から
○支援のポイント ・大切にしてきたこと	 ○ 集団にはじめて入る時に戸惑うので、やること、やる順番などを話してきた。 ○ 最初は見ているだけでも、次からやれるようになりますので、ゆっくりですが、見守ってください。 引き継いだ学校での支援の手掛かりとしますので、できるだけ具体的に記入してください。 書ききれない場合は、下記「自由記入欄」に記入してください。
〇入学してからこう あってほしいこと 認定こども園・幼稚園	○ 友達と仲良く遊んだり、関わって欲しい。
てからこうあってほし	いこと"について記入してください(別紙を添付していただくこともできます)。 「認定こども園・幼稚園・保育園・医療機関・療育機関から」の欄は、「保護者から」の欄に保護者が伝えたい内容について記入した後、園や必要な関係機関に記入していただいてください。
★ 書ききれなかった	自由記入してください。 こと、項目以外で必要なことを自由に記入してください。 この欄には、記入項目で書ききれなかったことや、上記以外で学校に引き継ぎたいことがありましたら、自由に記入してください。

(2) 記入例①

	保護者から			
項	★気になること、配慮が必要な	ことにチェック (🗹)	★ "得意なこと""好きなこ	認定こども園・幼稚園・ 保育園から
	を付け、右側に詳しくご記入	.してください。	と""工夫していること"	
目			などを記入してください。	
	☑言葉を聞いて理解する	・言葉が幼いので自分	工作が好きでよくやって	・自分の思いを伝えた
	(1対1、集団での様子)	の感情を表現するの が苦手である。	いる。	い気持ちは十分ある が相手の思いをくみ
学翌	□自分の思いを言葉で伝える	・数の概念はまだな		取るなど状況に応じ
学習の基礎	☑文字に関心をもつ	٧٠°		た対応は難しい。細
垦 礎	☑数える □絵を描く	話を理解するのに時		かな言葉かけや具体
	□工作をする	間がかかり、内容を かみ砕いて説明する		的な対応をしている。 (→ * 1)
	□その他	必要がある。		(7 * 1)
	 □着替え	・片付けが苦手。	・食事は好き嫌いなく何で	・やり方を具体的に伝
	ロトイレ		も食べている。	えることで、身辺処
生活	□食事			理は自分でできる。
の	☑片付け			
基礎	□挨拶			
PAC	□医療的ケア			
	口その他			
遊	☑子ども同士の関わり	・子ども同士の会話に	ひとり遊びが好きである。	・周囲の様子を気にす
遊びや他者との	口大人との関わり	ついていけない時が		るが、興味・関心が
他	□大人数での活動	ある。		ないことに積極的に
4	☑指示・ルールの理解	・ルールが分かるまで 時間がかかる。		関わることは少ない。 興味の幅を広げるた
の 関 わ	口その他	(言葉だけでは分かり		めに楽しさをその都
わり		にくい)		度知らせてきた。
	1 運動について	・身体が硬い。		・大きな動き(走る、飛
	 運動について ☑身体全体を使った運動 	・細かい作業は少し時		ぶ、登る)は得意だ
	☑ 手先を使った作業	間がかかる。		が、体操やリズムな
	2 感情について			ど決められた動作が
	□家庭や友達との共感			あるものは動きにく
	□感情の安定			そうにしている。 (→ * 2)
væ	(不安、パニックなど)			・スケジュールを具体
運 動	3 行動について □落ち着き			的に伝えることで、
面・	□冶っ個と □人や物にあたる、こだわり			活動に参加できる。
行動	がある、など			
動面	4 感覚について			
	☑音への反応	・大きな音が苦手であ		
	(苦手な音がある、など)	る。		
	□感触への反応 (苦手な感触がある、など)			
	5 その他			

項	皿	保護者から
〇支援のポイ ・大切にして		・マイペースで自分の世界を大切にするので、集団の中では目立つかもしれないが、次に行うことや手順などを丁寧に言って聞かせれば行動できる。・言葉を図形化すれば分かりやすいようだ。
〇入学してか あってほし		・友達を作り仲良くして、楽しい学校生活を送ってほしい。 ・集団生活の楽しさを味わってほしい。

認定こども園・幼稚園・保育園・医療機関・療育機関から、上記の"支援のポイント・大切にしてきたこと""入学してからこうあってほしいこと"について記入してください(別紙を添付していただくこともできます)。

- ・経験の少ないことや、困っていることには、事前に説明をすることで不安を取り除くことができ、自ら行動できるようになる。
- ・友達との関わりの中で、上手に関われないときは本児の気持ちを代弁したり、仲立ちをしたりすることで、落ち着いて関われるようになる。

自 由 記 入 欄

- ★ 書ききれなかったこと、項目以外で必要なことを自由に記入してください。
- *1 園では絵カードを使って生活の手順を示し、終わったら「片付けBOX」にカードを入れるようにしてきました。一つ一つ確認できるので、分かりやすいようです。
- *2 自由に体を動かすことは好きですが、リズムに合わせて決められた動きのあるものは、皆と同じリズムでやるのが難しそうにしていることがあります。

(2) 記入例②

	保護者から				
項	★気になること、配慮が必要な	;ことにチェック (☑)	★ "得意なこと""好きなこ	認定こども園・幼稚園・	
	を付け、右側に詳しくご記力	、してください。	と""工夫していること"	保育園から	
目			などを記入してください。	医療・療育関係等から	
学	☑言葉を聞いて理解する	・クラス全体への指	・ブロック(LaQ)が好き	・全体に伝えたあと個別	
	(1対1、集団での様子)	示理解が苦手であ	で細かいものを作ってい	に分かりやすく伝え	
	☑自分の思いを言葉で伝える	る。 ・自分の思いを伝え	る。	ている。 ・気持ちに焦りがある	
学習の	口文字に関心をもつ	たい気持ちはある		と言葉がうまく出な	
基礎	□数える □絵を描く	が、適切な言葉が		いことがあるので、	
PAE	口工作をする	出てこないことが		落ち着かせてゆっく	
	□その他	ある。		り聞くようにしてき た。	
		行を掛いぶタノウ	上仕はむれる 復辛なる		
	□着替え	好き嫌いが多く家では偏った食事で	・片付けは好きで、得意でもある。	・園で友達と一緒だと苦 手な野菜や魚も食べ	
l	ロトイレ	ある。		ている。	
生活	☑食事				
の基礎	口片付け				
礎	口挨拶				
	□医療的ケア				
	口その他				
遊 び	☑子ども同士の関わり	・夢中になっている	・小さい子には優しい面があ	好きな遊びを通して	
ひやに	口大人との関わり	ものがあると自分の世界にユュズト	る。	友達との関わりも見	
┃他 ┃者	口大人数での活動	の世界に入ってし まうので、集団で		られるが、うまく関 われないときは、大	
や他者との	□指示・ルールの理解	の活動に参加でき		人が仲立ちとなって	
関わ	口その他	るか心配である。		伝えるようにした。	
わり					
	1 運動について	・予定外のことが起		・場所を変えて気持ちの	
	□身体全体を使った運動	きると気持ちの切		切り替えを図るなどの	
	口手先を使った作業	り替えが難しい。		対応をした。	
	2 感情について	・初めての場所、人に		・「楽しさ」を伝えること	
	口家庭や友達との共感	対し緊張が強い。		で初めてのことにも向	
	☑感情の安定	環境の変化が苦手 である。		き合えるので、近くで 寄り添うなどして援助	
雷	(不安、パニックなど)			した。	
運動	3 行動について				
面・	□落ち着き ☑人や物にあたる、こだわり				
行動	がある、など				
動面	4 感覚について				
	口音への反応				
	(苦手な音がある、など)				
	□感触への反応				
	(苦手な感触がある、など)				
	5 その他				

項	目	保護者から
○支援のポイ: ・大切にして		 ・緊張が強いので、「失敗しても大丈夫」というメッセージを事あるごとに伝えてきた。 ・初めての場所(環境)に戸惑うのでどこへ行き、何をするのか具体的に説明をしてから連れて行くようにした。
O入学してかり あってほしり		・学校に楽しく通い、その中で「得意なこと」「好きなこと」を見付けて伸ばしていってほしい。・友達と仲良く楽しんでほしい。

認定こども園・幼稚園・保育園・医療機関・療育機関から、上記の"支援のポイント・大切にしてきたこと""入学してからこうあってほしいこと"について記入してください(別紙を添付していただくこともできます)。

- ・新しい環境に慣れにくいので、近くで寄り添ったり、不安を解消したりして保育者とのコミュニケーションを大切にしてきた。何かに挑戦するときは見守り、できたことを褒めることで自信をもって取り組めるようになってきた。
- ・初めてのことはあらかじめ流れを伝えておくことで、緊張が和らいで取り組める。

自 由 記 入 欄

- ★ 書ききれなかったこと、項目以外で必要なことを自由に記入してください。
- *喘息体質なので、体調がすぐれない様子が見られたら、保健室で休ませるなどの配慮をしていただけると助かります。

(2) 記入例③

		保 護 者 か ら		and - ISA BOULE
ा	項 ★気になること、配慮が必要なことにチェック(☑) を付け、右側に詳しくご記入してください。		★ "得意なこと""好きなこ	認定こども園・幼稚園・ 保育園から
			と""工夫していること"	
			などを記入してください。	
	☑言葉を聞いて理解する	・物事の理解はでき	・数字や時間には興味があり	・保育者の指示に従って 動くことはできるが、
	(1対1、集団での様子)	るがすぐに忘れて しまい、ルールを	簡単な足し算はできる。 ・文字は教えていないが、名	動くことはできるが、 気持ちが先走ってし
学習	☑自分の思いを言葉で伝える	守れなかったり指		まうことがある。
学習の基礎	口文字に関心をもつ	示ができなかった		・少しずつ手先が器用
礎	□数える □絵を描く	りする。		になってきて細かい
	□工作をする	・自分の思いを言葉 で表現することは		作業もできるように なった。
	□その他	苦手である。		12 7100
	□着替え	・特になし		・何をすればよいか分
	ロトイレ			かり素早く行動でき
生	□食事			ている。できていな い子に教える姿もあ
生活の	口片付け			るが、その際、手が
基礎	□挨拶			出てしまうこともあ
PAC	□医療的ケア			る。
	□その他			
遊 び	☑子ども同士の関わり	・友達が大好きで	・体を動かすことが大好き	・大人数で遊ぶことを
ひゃ	口大人との関わり	時々度を越してし	である。	好み、自分から輪の
や他者との関	口大人数での活動	まうことがある。		中に入っていく。
ے ص	☑指示・ルールの理解	・頭でルールは理解 しているが、興奮		・行動を起こす前に声を かけることを心がけ
わ	口その他	すると忘れてしま		たが難しい部分もあ
ij		う。		った。
	1 運動について	・本人にそのつもり		・体をダイナミックに
	□身体全体を使った運動	はないが、通りす がりに何もしてい		動かすので、周りが 見えずにぶつかるこ
	□手先を使った作業 ○ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	ない友達にちょっ		とがある。またちょ
	2 感情について☑家庭や友達との共感	かいを出したり、		っかいを出すときも
	□感情の安定	たたいたりする。		ある。その都度相手
	(不安、パニックなど)	友達も分かってい		の気持ちを伝えた
運 動	3 行動について	るので、大きなト ラブルになること		り、本人と確認をしたりしてきた。
面	□落ち着き	はない。		10,0000
• 行	口人や物にあたる、こだわり	· · · · · ·		
動面	がある、など			
	4 感覚について □音への反応			
	(苦手な音がある、など)			
	□感触への反応			
	(苦手な感触がある、など)			
	5 その他			

項目	保護者から
〇支援のポイント ・大切にしてきたこと	・突発的に行動して失敗すること(道路への飛び出しなど)が多いので、行動する前に 「次は何をするの?」と聞き、言葉で言ってから行動させるようにした。
〇入学してからこう あってほしいこと	・人の気持ちを思いやった行動、言葉かけができるようになってほしい。

認定こども園・幼稚園・保育園・医療機関・療育機関から、上記の"支援のポイント・大切にしてきたこと""入学してからこうあってほしいこと"について記入してください(別紙を添付していただくこともできます)。

・集団の中でずっとそばに付いていることはできないが、事前に「次は何をする?」という確認をできるだけする ようにした。

また、友達との適度な距離を保てるように、並ぶ時は一番前などの工夫をしたことで、本児にとっても刺激が少なくなり落ち着いて過ごせることもあった。

自 由 記 入 欄

- ★ 書ききれなかったこと、項目以外で必要なことを自由に記入してください。
- *体を動かすことが大好きなので、ずっと座って授業を受けられるのかどうか不安である。園では、15分程度の 読み聞かせは、最近になり、上記の工夫などで座って聞いていられるようになった。

3 こげら就学支援シートの作成から提出の流れ

① 就学説明会、就学時健康診断等などに配付

②保護者がこげら就学支援シートを作成 (お子さんのことで学校に伝えたいことがある方)

☆保護者が持参し作成依頼をする。

③認定こども園・幼稚園・保育園、医療・療育機関等で、こげら就学支援シートに記入

☆保護者が小学校に提出する。希望 する場合は、学童クラブにも写し を持参して提出することができる。

④こげら就学支援シートを入学する小学校で受理、保管

⑤受け取った小学校は、必要に応じてこげら就学支援シートを 基に各園等との引き継ぎや保護者を交えた面談等を実施。シートを受け取った際、保護者にそのことを伝える。

小学校は、作成先の認定こども園、幼稚園、保育園にこげら就学支援シートを受け取ったことを必ず連絡する。

ポイント

・小平市教育委員会指導課 でもお渡しできます。なお市ホームページで もダウンロードできます。

ポイント

- 保護者の方は、小学校へ 伝えたいかどうか、園と よくご相談の上、作成を 始めてください。
- ・まず保護者欄をご記入いただき、次に園や医療・ 療育関係等からの欄に 記入していただきます。
- ・保護者欄の記入の際、園からの協力を得ることもできます。

ポイント

- ・提出時期は、2月末頃までですが、期間中に提出できない場合には学校へ直接ご連絡ください。
- ・学童クラブもお子さんの 大切な生活の場ですの で、学校と合わせてご提 出いただくと4月のスタ ートがスムーズです。

ポイント

- ・小学校と保護者とで、時間をとって相談する機会ができます。
- ・学童クラブにもご提出いただいた場合は、同じく相談することができます。

4 こげら就学支援シートはこんな風に役立てています

<継続してきめ細やかな支援ができます>

【取組の内容】

安心して小学校生活をスタートしていただく ため、認定こども園、幼稚園や保育園で行われ ていた支援を速やかに継続できるように、就学 支援シートを活用しています。希望する保護者 の方に前もって面談を行ったり、お子さんの緊 張を和らげるために、入学式の会場や教室環境 を、事前に体験したりする機会も設けています。

充実した学校生活を送っていただけるよう、

就学支援シートを基に、子 どもたち一人一人に合った 指導や支援を行っています。



くご家庭との連携がすすみます>

【取組の内容】

送迎のない小学校は、保護者の方と担任がゆっくり話せる機会はなかなかありません。個人 面談を行う学校も、入学式からは少し時間があります。

就学支援シートをご提出いただくと、お子さんの得意なことや配慮事項が分かり、入学当初から細やかに接することができます。お子さんの情報を得ているため、最初の

面談で今後の対応について具体 的に話し合うことができ、ご家 庭との連携がすすみます。



入学式の会場や下駄 箱、トイレなども見ら れて、入学式の心配が 減ったよ。



入学式の前日に担任の先生と話ができたよ。顔を 覚えてもらえて、入学式 の日も安心だったよ。

<入学式を安心して迎えていただけます>

【取組の内容】

就学支援シートを提出していただくと、スム ーズに小学校生活をスタートするために必要な 準備をさせていただくことができます。

不安に思っていらっしゃることを具体的にお聞きし、実際に教室や座席の位置を確認してもらったり、困ったときの合図を決めたりして、お子さんに合った支援の方法を決めていきます。入学初日から、お子さんが不安に感じる場

面を減らし、「うまくできた!」と思える経験を積み重ねていけるよう支援していきます。



<スムーズで継続した支援を行います>

【取組の内容】

保護者からご要望があれば、日々の学校生活を参観していただき、担任や管理職との面談も随時行うなど、お子さんが学校生活を楽しく送れるよう考えていきます。入学後のティーチング・アシスタントやボランティアの配置も考慮します。

また、就学支援シートを基に、お子さんへの 支援を校内で引き継ぐため、必要に応じて「学 校生活支援シート」を作成していきます。成長

に合わせ、継続的な支援 を保護者の方とともに考 えていきます。



5 「こげら就学支援シート」Q&A

Q1 就学支援シートを出さないと支援が受けられないのですか。

A1 配慮や支援が受けられないというものではありません。就学支援シートをいただくことのよさの1つは、入学後に配慮してほしいことなど、早期に対応を行うことができることです。シートには保護者の方をはじめ、お子さんを支える様々な方から学校に配慮してほしい内容等が書かれており、学級編制や具体的な支援等の大切な資料となります。

Q2 小学校入学に当たって心配があるのですが、就学支援シートを提出する基準等はあるのですか。

A2 基準等はありません。就学支援シートの提出について迷われる場合には、園や学校 等にご相談ください。

Q3 必ず幼稚園(認定こども園、保育園)の先生にも書いてもらわないといけないので すか。

A3 必ず幼稚園(認定こども園、保育園)の先生に書いてもらわないといけないものではありません。ですが、幼稚園や保育園等で行ってきた指導の工夫や配慮などを記載し、小学校や学童クラブへ引き継ぐことは、お子さんが豊かで楽しい学校生活を送れるようにするために大切なことと考えます。療育機関等に通っていた場合には、その機関等にも書いていただくと、きめ細かい配慮を行うことにつながります。

Q4 2月より前に就学支援シートを提出することはできますか。

A4 時間をかけてお子さんについての話を伝えたり、入学に向けての準備を整えたりするために、就学時健康診断等の早い時期に、就学支援シートをご提出いただくこともできます。 就学支援シートが必要な場合には、小平市教育委員会 指導課 (☎042-346-9572) までお問い合わせください。

Q4 就学支援シートは、誰が見て、どのように管理されていますか。

A4 管理職や学級担任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター等が目を通して、お子さんの支援に役立てています。個人情報を記載した資料ですので、鍵のかかる場所で管理し、写しについても同じ扱いをいたします。

6 子どもたちの楽しい学校生活を支えるために

●メッセージ●

「こげら就学支援シート」は、お子さんがスムーズに学校生活をスタートするため、市内の認定こども園、幼稚園、保育園と保護者の皆さんが一緒に作成するものです。

就学支援シートを作成することをきっかけに、保護者、各園と小学校・学童クラブがお子さんのこれからの具体的な支援について話すことができ、協力の輪が広がります。環境が変わっても、これまで積み重ねてきた支援が継続するように働きかけることで、お子さんが安心して小学校生活に踏み出すことができます。どうぞご遠慮なくご相談ください。

【保護者から】

- ・入学前の面談で、不安に思っていたことに全部答えていただく ことができました。健康上のことや、友達との関わりで心配だ ったことも、入学式の日から配慮してもらうことができ、よか ったです。
- ・就学支援シートを提出する際に、管理職の先生や特別支援教育 コーディネーターの先生に子どもの様子を直接伝えることが でき、安心して入学を迎えることができました。
- ・心配なことがたくさんありますが、少しでも小学校の先生が我 が子のことを知っていていただけたら・・と思います。





こげら就学支援シートに寄せて

【保育士・幼稚園教員から】

- ・お子さんの不安や保護者の方の心配などを取り 除き、元気に学校へ通えるように応援します。
- ・学習、生活、運動、人との関わりなど様々な観点から子どもを見守り、援助し、一人一人が少しでも早く新しい環境に慣れて楽しい学校生活が送れるように役立ててほしいと願っています。
- ・就学支援シートを提出することで、小学校の先生にお子さんの様子を知っていただき、安心して学校生活を送ってもらえるよう、幼児期の姿を伝えるお手伝いをしたいと思います。
- ・安心して学校生活を送れるように、一緒にお子 さんのことを考えていきたいと思います。

【小学校教員から】

- ・ご家庭と連携して、お子さんを支えることは、 入学して不安なお子さんにとって、安心でき る環境づくりにつながります。小さなことで も、気になることがあれば、ご記入ください。
- ・お子さんの様子を就学支援シートや入学前の 面談で知ることができ、入学準備や環境に配 慮して迎えることができました。おかげで、 学校生活を順調にスタートさせることがで きました。
- ・就学支援シートは、就学先を決めるものでは なく、お子さんによりよい支援をするための シートです。保護者の方の思いや幼稚園・保 育園などでの生活を通して、知らせたいこと をご記入ください。

こげら就学支援シート活用ブック (令和6年4月改訂版)

編集 • 発行: 小平市教育委員会教育部指導課

〒187-8701 小平市小川町2-1333 小平市役所5階

電 話 042 (346) 9572 FAX 042 (346) 9578